



「小値賀島 DIY Wedding」が誕生するまで

昨年、9月に開催された「大学生観光まちづくりコンテスト」によって、始まりました。

「大学生観光まちづくりコンテスト」とは、4つのステージに分類され、指定された地域に大学生が自ら足を運んで、地域の課題や弱点を洗い出し、観光を通じたまちづくりプランを提案します。

最優秀に活水女子大

「国境離島」NR賞とW受賞

昨年、4つのステージの内の1つに、長崎県の「国境離島」ステージが選ばれました。

「国境離島」ステージの中で、11チームの大学がある中、活水女子大学の皆様が小値賀を選んでくださり、小値賀を知る中で、「小さな島で価値ある祝賀」というタイトルで、結婚式プランを提案していただきました。



(長崎新聞 平成 30年 9月 8日掲載)



(活水女子大学のプレゼンテーション内容)



(おぢか新聞 平成 30年 11月号掲載)

「小さな島で価値ある祝賀」プランは、小値賀町の海や自然豊かな島の景観、古民家を改修した古民家ステイなどを活用し、柿の浜海水浴場での挙式、古民家レストランでの披露宴を想定し、引き出物は、列席者が手作りで小値賀の赤土を使った小値賀焼きや100年以上続く活版印刷を使ったポストカードを作るという斬新なアイデアを盛り込んでいただきました。

こちらの活水女子大学生が考案したプランの新規性や創造性等が認められ、このコンテストの最優秀賞であります「観光庁長官賞」を受賞されました。



活水女子大学による町長表敬訪問

2月23日(土)、尼忠東店で開催された〇〇マルシェにおいて町民への活動内容の発表の折、活水女子大学の皆様が西町長を表敬訪問しました。
 活水女子大学の皆様は、小値賀町の古民家レストランで披露宴を行い、参列者全員で、活版印刷や赤土焼き物体験での引き出物を手作りすることを盛り込んだ結婚式プランを発表した「大学生まちづくりコンテスト」において観光庁長官賞に輝き、小値賀町としても大変嬉しい限りです。
 町長から、これからもサークル合宿などで小値賀町を活動のフィールドの場にして欲しいと話がありました。

(おちか新聞 平成 31 年 4 月号掲載)

「観光庁長官賞」を受賞された活水女子大学は、平成 31 年 2 月に、小値賀町に来島され小値賀町長に受賞報告を行い、町民の皆様にプレゼンテーションを行いました。

また、活水女子大学の皆様が考案した結婚式プランを事業化し地域振興につなげようと、県観光振興課と小値賀町が協議し、リゾートウェディングを手掛けるワタベウェディングに協力を要請し、同社をアドバイザーとして

招聘し、同社の各担当者にこのプランを視察していただきました。

その後、プランの実用化に向けて、ワタベウェディング様と連携し、活水女子大学の皆様が提案していただいたプランを「小値賀島 DIY ウェディング」として生まれ変わらせ、正式にモニターウェディングを開催することになりました。

離島で結婚式 実現性検討



小値賀町 花小島町 旧居

コンテストは、TBS総合研究所(東京)などによる運営協議会主催「東海」の各メディアに「北陸」「多摩川」の各メディアに「北陸」による地域活性化をテーマとした「環境」がテーマとなり、島の歴史や地産物、食文化、観光プランを考えた。活水女子は小値賀町の古民家レストランでの披露宴を提案し、引き出物も列強者が手作りするアイデア

活水女子大生が考案

ウェディングで離島振興を。活水女子大学の学生 5人が考案し、昨年の大学生まちづくりコンテストで最高賞を受賞した北陸小値賀町での結婚式プランについて、今年秋実現性を探るモニター結婚式が聞かれる。国内外結婚サービス業を展開するワタベウェディング(京都市)がアドバイザーする。式を挙げカップル1組が7月15日結婚している。

小値賀町で今秋、モニター募集

希望者は、同社ホームページ内の特設サイトで応募。締め切り翌日、当選者へ連絡する。同社内事業本部マーケティング部結婚事業戦略グループの渡部智博(フジマツ)は「企業視点ではなかなか見つからない着眼点。とんだでもすぐ結婚式を準備していただけるようならサポートしてあげるから、そこから選んでいる。問い合わせは同社(電話03・37000041)」。 (清水穂子)

アなを盛り込んだ。観光庁長官賞と審査員特別賞の長崎新聞N賞に輝いた。結婚式プランを事業化し地域振興につなげようと、県観光課と小値賀町が協議し、リゾートウェディングを手掛けるワタベウェディングに協力を要請し、同社をアドバイザーとして加わった。2月に県、小値賀町、同社の各担当者と学生が小値賀町を訪れ、海や自然豊かな島の景観、古民家を改修した宿泊施設などを視察。モニター結婚式の実現が注目された。テーマは「小値賀島 DIY Wedding」。"DIY"は"Do it Yourself"の略称。には「船式を自分好みにアレンジ」する。という意味が込められている。企業側は、別荘者ありの結婚式を構想している。県内外のカップル華式は1月上旬に実施し、当日の写真や動画を同社のホームページや各種メディアに掲載する。当選者には、カップルの渡航費用(1往復分)と別荘者を含めた当日の料理、ドリンクをプレゼント。同社がプランニングと当日の運営をサポートする。

(長崎新聞 令和元年 6 月 15 日掲載)

6月にモニターを募集し、7月にモニターカップルが決定いたしました。その後、モニターの方と打ち合わせをしながら DIY ウェディングに向けて着々と準備を進めております。

モニターカップルと打ち合わせをした結果、10月26日(土)に催行することが決定し、本番に向けて着々動き出しています。

以上が、小値賀 DIY ウェディングが誕生するまでの経緯になります。